

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	97 2 国際交流推進事業(他国との交流事業)	会計	01	一般会計
基本	55 外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
		目	07	文化振興費
施策	2 友好都市交流の推進	細目	102	国際交流推進事業
		細々目	01	国際交流推進事業
基本計画該当頁		188		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 040200 名称 企画振興部文化国際課	評価者 氏名	澤田 洋子	連絡先 22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	国際交流に関心のある市民及び団体 ( 対象件数 )	ホームページ等を活用し伊賀市を世界に発信し、他国との交流を深めることができる。
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 10 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
本年度事業内容	「松尾芭蕉」と「シェークスピア」を核として、平成10年からシェークスピアの生誕地である英国ストラットフォード・アボン・エイボンと交流をしている。本年度は芭蕉祭に町長を招待する年であったが欠席であった。南アフリカ共和国とは、伊賀上野シティアマソンや女子サッカー大会には大使が来訪し、国際化したまちづくりのためスポーツを通して交流をした。	招待に係る当市の負担を、食費を含む滞在費のみとした。平成10年から英国ストラットフォード・アボン・エイボンと交流が続いているが、両市長の公務の都合により、平成15年度を最後に近年は欠席が続いている。南アフリカ共和国とは、スポーツを通じて交流を行っている。
状況変化等		

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
南アフリカ共和国大使館来訪回数	回	目標 実績 1	目標 実績 2	2	2
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
南アフリカ共和国大使館来訪回数	大使館の来訪により伊賀市をより一層アピールすることができる	回	目標 実績 1	目標 実績 2	2	2
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	国際的に評価されるまちづくりに向けて、世界の3大詩人と言われる「俳聖松尾芭蕉翁」の生誕地として伊賀市の特性を世界の人たちに知ってもらうために、情報を発信する。
有効性	3	在日南アフリカ共和国大使館の後援事業として当市主催のスポーツイベントを開催、大使を招待することで、実際に伊賀市を体感してもらい、また交流会等で意見交換することにより、大使を通じ伊賀市の特性をアピールしている。英国ストラットフォード・アボン・エイボンとの交流については、平成15年度に伊賀市からシェークスピア誕生祭に出席したのを最後に近年は双方とも欠席が続いている状況である。
達成度	2	南アフリカ共和国については、ほぼ計画どおりに達成できた。英国ストラットフォード・アボン・エイボンについては、達成できなかった。
効率性	3	英国ストラットフォード・アボン・エイボン町長の招待にかかる当市の負担については、これまで航空費と国内での食費を含む滞在費であったが、18年度より食費を含む滞在費のみすることによりコスト削減を図った。結果は、欠席であったため本年度は経費「0」となっている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
D	縮小	英国との交流については芭蕉祭と誕生祭へお互いが出席することで交流をしてきたが、経費がかかるため滞在期間を短くし、経費を削減する。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	⇔	旅費		72	旅費		100	報償費		140	旅費		47	報償費		140	旅費		47
		食糧費		5	食糧費		8	旅費		522	消耗品費		40	旅費		522	消耗品費		40
		自動車借上料		180	会場借上料		7	消耗品費		99	燃料費		14	消耗品費		99	燃料費		14
		その他		71	その他		5	食糧費		10	食糧費		520	食糧費		10	食糧費		520
進捗率(%)																			
事業投入人員		人件費(A)		328	人件費(A)		120	人件費(A)		887	人件費(A)		802	人件費(A)		887	人件費(A)		802
フルコスト(A)+(B)		人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720
		1,048			840			1,607			1,522			1,607			1,522		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	328	120	887	802	887	802
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	328	120	887	802	887	802
計	328	120	887	802	887	802
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					